

秋らしい冷涼な季節となりました。野沢温泉学園に日頃よりご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。村の人やことに学ぶ子どもたちの様子と支援センターの活動についてお伝えします。

### 「これで桜茶を飲むんだよ」(こども園)

毎年、こども園の年長児は自分たちで摘んだ桜で桜茶をつくり、中学3年生にプレゼントしたり、卒園祝いにみんなで飲んだりしています。今年の年長児は、大好きな粘土遊びの延長で自分たちの湯飲みを作ることにしました。講師は公民館講座でおなじみの池田亨さんです。子どもたちがのびのび楽しく取り組めるように、丸い粘土のお団子を用意してくれました。「これはおかあさんにあげる。こっちはぼくのだよ。」夢中になって製作し、いろいろな形のオリジナル湯飲みができました。素焼きをして釉薬をかけ、本焼き、そして10月15日、いよいよ窯出しです。出来上がった湯飲みを両手で大事に抱えて、友だちと見せ合う子どもたち。満面の笑顔でした。



### 「村に学び、村を考え、行動する」(中学校)



中学校「野中祭」では、全学年が「ふるさと学習」として総合的な学習の時間に活動してきたことについて発表しました。

つつじ山の植樹活動や御宿海の交流を経験し、村のことを伝えたいという意識が高まってきた1年生。今後は、村の方を講師に、ジビエを活用した村の活性化と課題について、捕獲の話やジビエ料理等を通して学んでいく予定です。2年生は「もっと自慢できる野沢温泉村にするために」をテーマに、「ごみ」「遊び場」問題に取り組んでいます。自分たちが日ごろ感じていることが、実際にどうなのかを現地で調べ、結果を検討し、役場担当者から話を聞いたり、小学生とその保護者にアンケートをとったりもしました。そこで見えてきた「難しい」をどうすれば解決できるか、検討を続けています。安易に結論を出さず、視点を広げながら粘り強く取り組む姿がとても頼もしく感じられました。3年生は、「守破離」を3年間のテーマに、スキー博物館の学芸員など、村の事業に積極的に関わってきました。今年は人口減少、温暖化の影響が進む中で、自分たちが50歳になる「2060年の野沢温泉村について考える企画」に取り組んでいます。野沢組前惣代の宮澤さんを始め、村を支える方々から、村への熱い思いと、村の強みを活かし課題に立ち向かう工夫や努力を学んできた3年生。村を担う大人の姿に安心感を抱き、自分も今できることを考え、村に貢献できる人材になりたいと考えるようになったと語っていました。いずれも学園の先頭に立つにふさわしい内容でした。

村を担う子どもたちの意識の基盤は、まさに村の大人たちとの関わりにあります。その関わりを体系的に、かつ意識的なものにする「ふるさと学習」の意義を強く感じさせてくれる発表でした。



## 「小学校クラブとコラボ『リアルのざわの時間』」

7月29日、今年も地域支援センターと公民館のコラボにより、「リアルのざわの時間」を開催しました！当日は、「早めにスケッチ」「ニュースポーツ」「折り紙」「木工工作」「リズムダンス」「そば打ち体験」「短時間集中トレーニング」の7つの講座に、園児、小中学生、高校生、大人と様々な年代の方が大勢参加しました。講師の方々の工夫で、どの会場もワクワク感いっぱい。終始、和気あいあいとした雰囲気、講座の最後には「とても楽しかった」「来年もぜひやって」「今度はちがう講座も出てみたい」等の感想が出されました。

学校のクラブ活動や昼間の公民館講座などなかなか普段は経験できない活動を、夏休みに子どもも親も地域の方々もいろいろな立場の方々と一緒に楽しむ。この楽しさ、充実感をより多くのみなさんに味わっていただけるように、これからも工夫したいと思います。今回も社会教育委員のみなさんにもアシスタント(兼、参加者！)としてお力添えいただきました。次は何をやってみたいですか？希望をぜひお聞かせください！



## 「先生たちも村に親しみ、理解を深める」



8月2日、学園職員が北部地区を知る地域研修を実施しました。史跡、名勝に加え、奥山堰や渡しの現場、分校跡にも立ち寄りました。地区の歴史を知り、村を支えた人々の存在や、深い雪にも負けずに学んだ当時の子どもと先生の生活を肌で感じることができました。学園の先生たちが村のことに興味をもち、村を好きになってくれたら、子どもたちもきっと嬉しいことでしょう。暑い、暑い日でしたが、とても充実していました。来年は豊郷地区をまわる予定です。

(文責 藤村)

### 支援センターからお知らせ

◎今年も「ボランティアのつどい(野沢温泉学園地域支援ボランティアのつどい)」を開催します！

11月26日(火) ボランティアのつどい15:50～16:50(小学校 ボランティアルーム・第2学習室)

※つどいの前に、小学2～5年生の授業を自由に参観できます。(授業参観14:50～15:35)

ボランティア登録されている方と学園運営協議会委員の皆様には案内を送付します。一般の方で興味のある方も参加できますので、下記連絡先までご連絡ください。

連絡先: 野沢温泉学園地域支援ボランティアセンター(野沢温泉村教育委員会内)

担当:藤村 TEL:0269-85-3115